



一般社団法人タラオセアンジャパン 2024年事業報告書

目次

1. 科学	3
・Tara JAMBIO ブルーカーボンプロジェクト	3
・Tara JAMBIO マイクロプラスチック共同調査	5
2. 教育・啓発活動	6
・教育イベント	6
・アート活動	8
・広報活動	8
(1) 刊行物	9
(2) プレスリリース	9
(3) メディア掲載	9
(4) ソーシャルメディア発信	11
(5) ウェブサイト	11

一般社団法人タラオセアンジャパン(以下「タラ オセアン ジャパン」という)は、地球の温暖化に警鐘を鳴らすとともに、地球環境問題に対する理解の促進、教育、改善及び解決に向けた取り組みを推進、実施することを目的とし、2024年も科学x教育xアートの3軸で事業を行いました。

1. 科学

▪Tara JAMBIO ブルーカーボンプロジェクト

当プロジェクトは、日本の臨海実験施設のネットワークであるマリンバイオ共同推進機構(JAMBIO)と共同でブルーカーボン生態系を調査し、その重要性を啓発するプロジェクトです。約4年をかけて13カ所以上で調査研究が実施される予定で、2024年は4月に筑波大学の下田臨海実験センターで調査プロトコルを定義するための最初のテストが行われた後、JAMBIOのメンバーである九州大学、北海道大学、広島大学、島根大学の協力のもと、下記4地点で調査と啓発活動を行いました。



九州大学 天草臨海実験所 参加人数10名	5/13(月)	海況不良のため、船舶調査・潜水調査は実施せず ・午前に調査サイト(曲先)を岸から視察 ・午後に潮間帯の海藻を採集
	5/14(火)	潜水調査
	5/15(水)	船舶調査 ・河口、藻場から沖を採水 徒手(川) ・三会川と志岐川上流で採水 潜水調査 ・チャンバーなど
	5/16(木)	荒天のため調査無し
	5/17(金)	潜水調査、船舶調査、ドローン調査

	5/18(土)	啓発イベント実施
北海道大学 厚岸臨海実験所 参加人数11名	5/27(月)	船舶調査 ・コンブとウガノモクの混成藻場のエリアから沖にかけてと河口の表層水と底層水を採水
	5/28(火)	海況が悪く、陸から河川水採取
	5/29(水)	この日も、海況が悪く、潮間帯の海藻を徒手採取 ・打ちあがったコンブ類(オニコンブ・スジメ・アナメ)は異なるサイズを採集 ・コンブ類は長さとし湿重を測定
	5/30(木)	この日も海況が悪く、船舶調査のみ ・センサー設置、沖合のコア採取、ドローン撮影
	5/31(金)	潜水調査 ・コンブの種と長さを計測、光合成測定など
	6/1(土)	啓発イベント実施
広島大学 竹原ステーション 参加人数10名	6/11(火)	船舶調査(藻場から沖) ・生野島のアマモ場内のエリアから沖で採水 潜水調査
	6/12(水)	船舶調査(河口)・賀茂川河口部で採水 徒手(川)・賀茂川採水 潜水調査
	6/13(木)	サンプル処理、サンプル出荷
	6/14(金)	生野島ヘドローン撮影
	6/15(土)	啓発イベント実施
島根大学 隠岐臨海実験所 参加人数12名	6/17(月)	船舶調査 ・藻場のエリアから沖にかけて表層水と底層水を採水 潜水調査
	6/18(火)	徒手(川)・採水 潜水調査
	6/19(水)	潜水調査
	6/20(木)	潜水調査
	6/21(金)	潜水調査
	6/22(土)	啓発イベント実施



海藻の光合成測定、ダイバーによる船上での準備、ドローン調査
実験室での環境DNAサンプル処理、堆積物サンプルの回収

・Tara JAMBIO マイクロプラスチック共同調査

当プロジェクトの科学調査は、日本の沿岸水域および堆積物におけるマイクロプラスチック汚染に関する最大規模の研究です。近年、海洋環境におけるマイクロプラスチックの普遍的存在が注目されていますが、とくに日本沿岸部における汚染状況は依然として不明な点が多く残されています。本研究では、日本沿岸部における表層水および堆積物中のマイクロプラスチック汚染に関する包括的なデータセットを提供します。2019年にプロトコルの検討から始まった当調査は、北海道から南の沖縄諸島まで、日本各地14地点で実施され2023年6月にサンプリングは終了しました。

分析による主要結果は以下の通りです。

- 降雨は、陸域から海洋へのマイクロプラスチック(MPs)の流入に大きく寄与している。
- 農村部や沿岸地域の住民は、適切な廃棄物管理がないことにより、MPsの流出に関与している。
- 水産養殖や漁業による放置された漁具は、沿岸地域におけるMPsの主要な供給源となっている。
- MPsのポリマータイプには、PP(ポリプロピレン)、PE(ポリエチレン)、PS(ポリスチレン)、PET(ポリエチレンテレフタレート)など、一般的に使用されるプラスチックが含まれる。
- 沿岸域では、MPsのサイズやポリマーの選択性が見られ、重くて大きなMPsほど速く沈降する。
- 堆積物はMPsの沈殿場所(シンク)として機能し、沈降は河口付近で発生しやすい。

マイクロプラスチックの平均濃度は、表層水中で $288.7 \pm 651.6 \text{ g/km}^2$ 、堆積物中で $1,185 \pm 3,829 \text{ kg/km}^2$ となりました。ふるい分け、密度分離、化学的処理を用いて、サンプリングした堆積物および表層水から合計53,674個の微粒子が抽出されました。フーリエ変換赤外分光法(FTIR)による分析により、表層水では85%、堆積物では70%の粒子がプラスチックであると確認されました。

主に検出されたポリマーは、広く利用されるポリエチレン、ポリプロピレン、ポリスチレンでした。さらに、マイクロプラスチックの発生源および流入経路の分析により、降雨、人口、養殖業および漁業が濃度の主要な要因であることが明らかになりました。

本調査は、沿岸部におけるマイクロプラスチックの急速な沈降と、特に地方部における海洋関連活動に伴う廃棄物管理の改善の緊急性を浮き彫りにしています。

なお、本研究成果は、科学誌「Environmental Science & Technology」に2025年8月11日に掲載されました(<https://pubs.acs.org/doi/10.1021/acs.est.5c02645>)。

2. 教育・啓発活動

・教育イベント

2024年は合計で43件の教育・啓発イベント、シンポジウム、セミナーを行い、1,490名以上の参加者(視聴者)に届けることができました。内容は、地球温暖化やマイクロプラスチックをはじめとするプラスチック汚染、ブルーカーボン生態系に関する啓蒙、それに対するアクションなどについて、科学探査スクナー船タラ号による調査プロジェクトの研究成果や、日本でのTara JAMBIOプロジェクトを元を実施しました。前年は37件、1,221名だったのに対し、それぞれ+16%、+22%という結果でした。

日程	場所	内容	参加・ 視聴人数
2024-01-11	神奈川 慶応義塾大学湘南藤沢 キャンパス	学生向けセミナー	150
2024-02-06	オフィス	丸紅ファッションリンク様向け説明会	4
2024-02-15	東京 文喫	トークイベント	42
2024-02-07	オンライン	一般社団法人ふくおかFUN様への説明	1
2024-03-01	福岡 田島小学校	マイクロプラスチック・ストーリー上映とディスカッ ションの出前授業	101
2024-03-02	福岡 ももち浜ほか	一般向け、マイクロプラスチック採取体験、ビーチ クリーン、セミナー	33
2024-03-08	アニエスベージャパン	アニエスベ本社スタッフ向けセミナー	18
2024-03-09	アニエスベージャパン	タラ号20周年記念パーティー内のセミナー	40
2024-03-14	オフィス	品川区の行政の方への説明	10
2024-04-01	アニエスベージャパン	アニエスベ新入社員向けセミナー	18
2024-04-10	オフィス	ADK様への説明	1
2024-04-15	オフィス	日経新聞様への説明	1
2024-04-16	アニエスベージャパン	アニエスベ店舗スタッフ向けセミナー	17
2024-04-18	東京 在日フランス大使館公邸	海藻に関するシンポジウム	20
2024-05-13	香川 粟島	Awashima Heart Project	38
2024-05-18	熊本 天草	一般向け、Tara JAMBIO ブルーカーボンプロジェ クト啓発イベント(セミナー、実験、ビーチクリーン)	34
2024-06-01	北海道 厚岸	一般向け、Tara JAMBIO ブルーカーボンプロジェ	25

		クト啓発イベント(セミナー、実験、ビーチクリーン)	
2024-06-03	東京 AXAホールディングス	AXA社員向けマイクロプラスチックに関するセミナー	284
2024-06-04	アニエスベージャパン	アニエスベー店舗スタッフ向けセミナー	15
2024-06-08	東京 国連大学	海のSDGs映画祭 マイクロプラスチック・ストーリー上映とトークイベント	60
2024-06-15	広島 竹原	一般向け、Tara JAMBIO ブルーカーボンプロジェクト啓発イベント(セミナー、実験、ビーチクリーン)	25
2024-06-22	島根 隠岐	一般向け、Tara JAMBIO ブルーカーボンプロジェクト啓発イベント (セミナー、実験、ビーチクリーン)	16
2024-07-30	アニエスベージャパン	アニエスベー店舗スタッフ向けセミナー	17
2024-08-03	オンライン	北海道美瑛町 一般向けマイクロプラスチック・ストーリー上映とトークイベント、セミナー	10
2024-08-25	神奈川 えしかる屋	トークイベント	7
2024-08-27	アニエスベージャパン	アニエスベー店舗スタッフ向けセミナー	17
2024-08-28	アニエスベージャパン	アニエスベー店舗スタッフ向けセミナー	18
2024-09-09	筑波大学下田臨海実験センター	Tara JAMBIO ブルーカーボンプロジェクトの啓発イベント(クラウドファンディングリターン)	5
2024-09-10	筑波大学下田臨海実験センター	Tara JAMBIO ブルーカーボンプロジェクトの啓発イベント(メディア向け)	8
2024-09-12	筑波大学下田臨海実験センター	Tara JAMBIO ブルーカーボンプロジェクトの啓発イベント(パートナー企業 Veolia 様向け)	11
2024-09-13	筑波大学下田臨海実験センター	Tara JAMBIO ブルーカーボンプロジェクトの啓発イベント(パートナー企業 Veolia 様向け)	11
2024-09-14	静岡 アニエスベー静岡伊勢丹店	一般向けマイクロプラスチック・ストーリー上映とトークイベント、セミナー	20
2024-09-19	アニエスベージャパン	アニエスベー店舗スタッフ向けセミナー	14
2024-09-19	東京 目黒EASE	目黒駅前カイギ スピーカー	30
2024-09-21	アニエスベージャパン	タラ号ポスターコンクール受賞者向け授賞式	36
2024-09-25	スペイン ランサローテ島	マイクロプラスチックに関するシンポジウムにて Tara JAMBIOマイクロプラスチック共同調査について登壇	80
2024-09-25	アニエスベージャパン	アニエスベー店舗スタッフ向けセミナー	20
2024-10-09	三重 鳥羽小学校	マイクロプラスチック・ストーリー上映とディスカッション、ビーチクリーンの出前授業	30
2024-11-01	香川 松崎小学校	マイクロプラスチック・ストーリー上映とディスカッションの出前授業	37
2024-11-01	香川 栗島	ポスターコンクール参加者向け栗島海洋環境クラブ合宿 セミナー、ビーチクリーン、マイクロプラスチック採取体験など	16

2024-11-14	東京 国分寺市	市内小中学校の管理職研修セミナー	35
2024-11-27	静岡	世界マリンステーション会議にてTara JAMBIOプロジェクトについて登壇	84
2024-12-26	静岡 下田	市内の学校に向けたセミナー	35

・アート活動

2024年はアート展、教育系パネル展示を合計で5件行い、多くの方にご鑑賞いただきました。また、2020年より、アニエスベージャパンと共同で毎年行っている「タラ号ポスターコンクール」では、206名の小中学生が参加しました。受賞作品は、啓発活動のためにアニエスベー渋谷店3Fのカフェスペースに約3週間掲示され、その後も巡回展を行いました。

日程	場所	内容	来場者数
2024-07-27	アニエスベーギャラリーブティック	「だれがマイクロプラスチックを食べているの？」マイクロプラスチックに関する展示	1,040
2024-09-11	アニエスベー渋谷店3F カフェスペース	「Sailor's eyes タラ号クルーの視点」タラ号船員が航海中に撮影した写真を展示	N/A
2024-09-21	アニエスベー渋谷店3F カフェスペース	タラ号ポスターコンクール作品展	N/A
2024-11-03	アニエスベー京都BAL店	「Sailor's eyes タラ号クルーの視点」タラ号船員が航海中に撮影した写真を展示	N/A
2024-12-06	東京 目黒街角クリスマス	「だれがマイクロプラスチックを食べているの？」マイクロプラスチックに関する展示とタラ号ポスターコンクール作品展の巡回	4,788

・広報活動

(1) 刊行物

バンド・デシネ(漫画本)『北極で、なにがおきてるの？—気候変動をめぐるタラ号の科学探検』をアースデイである2024年4月22日に発売しました。この漫画本は、2021年5月にフランスで出版された『Le Réchauffement Climatique: Mission Tara En Arctique』の日本語翻訳版です。タラ号北極プロジェクト(2006～2008年)をヒントに作られています。地球温暖化の最前線である北極で起こっていることを知ることができ、またそれは決して他人事ではないということを楽しみながら読める一冊として、刊行しました。全国取り扱い書店、花伝社オンラインショップ、Amazon、楽天ブックス、アニエスベーオンラインブティックなどで販売しています。

(2) プレスリリース

2024年は計4本のプレスリリースを配信し各媒体掲載は計127件獲得しました。2025年は株式会社PR TIMESの非営利団体サポートプロジェクトを利用し、リリース配信の頻度を増やしていきます。

日程	内容	掲載媒体数
2024-02-15	<u>福岡・ももち浜で海洋教育イベント「タラ号クイズとマイクロプラスチック探検 in 福岡 ～親子で学ぶ、楽しむ、行動する～」を3月2日(土)に開催！</u>	26
2024-04-06	<u>『北極で、なにがおきてるの?』タラ号の北極探検を描いた漫画本、4月22日のアースデイに発売</u>	34
2024-06-05	<u>粟島の海洋ごみをゼロに！「Awashima Heart Project 2024」活動レポートを発表</u>	33
2024-07-15	<u>あなたのアートで海と地球を救おう！「agnes b. presents タラ号ポスターコンクール2024」参加者の募集を7月15日に開始</u>	34

(3) メディア掲載

2024年は40件以上のタラ オセアンに関するコンテンツを掲載いただきました。

日程	種類	媒体	内容
2024-01-04	WEB	ELEMINIST	<u>「Tara JAMBIO ブルーカーボンプロジェクト」に向けたクラウドファンディングを開始</u>
2024-01-11	WEB	Marine Diving web	<u>ブルーカーボン大規模調査のためのクラウドファンディングに支援を！</u>
2024-01-17	Newspaper	Asahi Shimbun	<u>生態系、全国調査を 海藻・海草など、ためる炭素——ブルーカーボン 研究者ら寄付募る</u>
2024-01-26	Newspaper	Asahi Shogakusei Shinbun	<u>海の生き物がためこむブルーカーボン CO2海中にとどめて「削減」</u>
2024-01-23	WEB	Ikeda Manabu Journal	<u>【第141便】「化学探査船タラ号 後編」</u>
2024-02-01	WEB	MIRSUS For SDGs	<u>地球温暖化対策の希望 ブルーカーボンの早急な大規模調査にご支援を！</u>
2024-01-31	Magazine	Nikkei Kids +	<u>日本の海とマイクロプラスチック タラ オセアン ジャパンが挑む3年間にわたる海洋調査</u>
2024-02-02	Newspaper	Izu Shimoda Keizai shinbun	<u>下田の海洋研究者らが「ブルーカーボン」調査 海に注目した温暖化対策</u>
2024-02-11	Newspaper	Gifu Shinbun	<u>タラ オセアン ジャパン、ブルーカーボン生態系の大規模調査へ クラウドファンディングで資金募る</u>
2024-02-12	Newspaper	Gifu Shinbun	<u>CO2吸収する「ブルーカーボン」が減少 日本沿岸調査へCFで資金募る</u>
2024-02-05	Magazine	Kazi	ブルーカーボン大規模調査に向けタラ オセアンの新プロジェクトを支援しよう

2024-02-16	WEB	Yahoo! news	<u>【福岡市】親子で楽しく海を学ぼう！マイクロプラスチック採取体験などの海洋教育イベントが3月2日に開催</u>
2024-03-12	TV	News zero	落合陽一さんタラ号から出演
2024-03-13	WEB	Encount	<u>生放送に洋上から出演 大揺れの船内も落合陽一氏涼しい顔、まさかの舞台裏に「見てるだけで酔いそう」</u>
2024-02-22	WEB	Web Chronos	<u>ベル&ロスとタラ オセアン財団のパートナーシップから生まれた「BR 03-92 ダイバー タラ」</u>
2024-04-01	Magazine	日本文教出版 高校美術教科書	大小島真木さんのTARA号でのレジデンス
2024-03-31	TV	BS Asahi	Earth Crisis Photo offer
2024-03-30	Newspaper	Chubu Keizai Shinbun	<u>衛星でプランクトン観測 分布の予測モデル開発 気候変動研究に活用も</u>
2024-04-08	Magazine	DIVING WORLD	(ISSUE 01) 水の惑星を潜る。
2024-05-01	WEB	Asahi Shimbun Digital	<u>海氷に閉じ込められて北極を「漂流」 20年がかりの観測、来年から</u>
2024-05-21	Newspaper	Asahi Shimbun	海氷に包まれる観測拠点 20年がかりの北極漂流調査へ
2024-05-15	TV	KSB news	<u>海ごみを新しい製品へ 粟島で環境美化プロジェクト 東京藝大 学長・日比野克彦さんも参加 香川・三豊市</u>
2024-06-02	Newspaper	Shikoku Shinbun	三豊・粟島 海洋ごみ回収プロジェクト
2024-06-02	Newspaper	Kushiro Shinbun	海洋環境 理解深める 厚岸で教育イベント
2024-06-05	WEB	PRtimes	<u>アニエスパーより「Awashima Heart Project 2024」活動報告</u>
2024-06-05	WEB	PRtimes	<u>アニエスパー、タラ オセアン ジャパンとの持続的な環境保全活動を展開「Awashima Heart Project 2024」第2回活動レポート！</u>
2024-06-17	WEB	Magniflex	<u>暮らしのエッセンスしなやかに生きる 白澤貴子さん</u>
2024-06-23	Newspaper	Nikkei Shimbun	<u>民間主導の海洋調査20年 地道な研究、支援もっと</u>
2024-06-30	Radio/Podcast	Emerald Practices	<u>第68回【海から教わる、私たちの環境】小澤友紀</u>
2024-07-12	Newspaper	Kumamoto Nichinichi shimbun	<u>ブルーカーボンを知ろう 「海の森」を守ろう</u>
2024-07-25	WEB	PRtimes	<u>アニエスパー、『誰がマイクロプラスチックを食べているの?』展を7月27日(土)から9月29日(日)まで開催</u>
2024-09-01	WEB	Huffpost	<u>あなたも知らない間に食べている？ 今、マイクロプラスチックをめぐり日本の海で起きていること。アニエスパーが警鐘を鳴らす理由</u>
2024-08-20	WEB	TabiLabo	<u>【アニエスパー】海洋プラスチックごみについて考える展示会を開催中</u>
2024-10-23	Newspaper	Nanacica	静岡のまちから映画を通して環境問題を考える アニエスパー静岡

			伊勢丹店 映画上映会
2024-10-22	WEB	Digital PR Platform	<u>アクサ・ホールディングス・ジャパン、気候変動対策への取組みを推進</u>
2024-10-11	WEB	<u>ELLE.jp</u>	<u>「agnès b.号」に揺られ、しまなみ映画祭 2024へ！</u>
2024-11-25	Newspaper	Shikoku Shinbun	海守る行動考えよう
2024-11-29	WEB	at press	<u>第6回「目黒街角Heart&Artクリスマス」12月6日の開催迫る！ 食・音楽・素敵な雑貨が満載の“エシカルマーケット” ～めぐる想い 未来につなぐ～</u>

(4) ソーシャルメディア発信

タラ オセアン ジャパンが運営するソーシャルメディアチャネル、Instagram、Facebook、X、YouTubeの投稿数は2024年合計851件で、前年の718件に対し+19%の結果でした。またそれぞれフォロワー数も昨年対比で+11%から+28%の伸ばすことができました。これは、Instagram/Facebook広告を2件運営したことも要因として考えられます。2024年1月から約3週間は、クラウドファンディングのコンテンツ、2024年7月から約1カ月は、ポスターコンクールのコンテンツで広告を運営しました。

(5) ウェブサイト

2023年のタラ オセアン日本語版ホームページのリニューアル後、2024年は、アーティストページの充実と定期的な記事の投稿に注力しました。年間のセッション数（訪問回数）は12,851で、エンゲージメント率は平均で92%と高い傾向にあることがわかりました。2025年も充実したコンテンツをお届けできるようにします。

以上